

建設業界で活躍する若手技術者からのメッセージ

県内では、多くの若手技術者が建設業における様々な分野で活躍しています。今回、土木、建築、測量、機械・設備の分野で活躍する若手技術者の皆さんに話を聞きました。

ー建設業界で働くきっかけ

実家が建設業を営んでいて、現場で働く父親の姿を見て育ちました。小学生の頃にはこの業界に入りたいと考え、高校、大学とも土木系の学科で勉強しました。県内での就職を希望し、三和建设(株)に入社しました。

ー仕事の内容や、やりがい、今目標としていること

道路工事や造成工事などの計画を立てて、現場を管理する仕事をしています。住宅地の造成工事では、下水などの計画を立て、騒音など環境面で近隣住民にできるだけ迷惑をかけないように調整し、現地を見ながら機械の配置や作業の順番を考えます。自分が計画した工事が完成した時はとても達成感を感じます。過去に携わったトンネル工事では、地中での測量が大変難しく、少しずれても失敗するのでとても緊張しましたが、無事正確に貫通してよかったです。工事は常に様々なりスクにさらされますが、これからも安全面に気をつけ、近隣住民に迷惑をかけず、計画どおりに工事を完成していきたいと思えます。

ー後輩へのメッセージ

現場での仕事は大変な面もありますが、いろいろな職種の人がいるので、知らないことを教えてもらうことが多く、楽しいです。また、自分の携わった工事が終わった時の達成感はとても大きく、やりがいを感じます。

ー会社の上司より一言

我が社のホープです。これから土木の仕事は増えていくと思うので、後輩指導を行いつつ、自分の仕事も引き続き頑張ってもらいたいと思います。(総務部長 宮崎公晴氏)



三和建设(株)土木部
上尾勝則さん

平成20年、三和建设(株)に入社。土木工事の現場管理担当。1級土木施工管理技士。

ー建設業界で働くきっかけ

小学生の頃から車のデザインに興味がありましたが、親戚の大工さんが家を建てている現場を見た時、カッコいいなと。中学3年で、家のデザインをした時にその記憶が蘇り、建築のデザイン、設計をしたいと思い、建築学科のある吉野高校に進学しました。

ー仕事の内容や、やりがい、今目標としていること

建築家の仕事は、設計図を描くだけではありません。住宅の設計を専門にしているのですが、依頼主に納得して長く住んでもらうためには、家族構成だけではなく、ライフスタイルや価値観、好み、将来像など様々なことを知って、生活の中に入り込んでいく必要があります。そのためにはコミュニケーション能力が非常に重要です。夫婦で意見が違ってなかなか夫婦、家族間での合意ができない時に、意見をまとめたり、家族に寄り添ったり、建築家は技術者ですが、技術者になりきってはいけません。依頼主と頻りに会って、雑談も含め会話を多くすることで、依頼主の本音を引き出すことができます。生活の改善が見込めたり、よりよい住み方のできる家を提案することが仕事の大事な部分で、完成後に依頼主から感謝の手紙を多くいただきます。心から喜んでもらっていることが伝わって、やってよかったなあと思います。自分が携わったものが形となって残り、そこで暮らす人の生活がよくなることは、とても嬉しいことです。これからも依頼主に寄り添って、誠実に仕事を続けていきたいと思っています。

ー後輩へのメッセージ

大人になっても幼い頃の好奇心を大事にすると、それは仕事でずっと役立ちます。建物を含め身の回りのものの寸法や用途などを絶えず意識してください。寸法の感覚を身につけることは「ものづくり」ではとても大事です。



やまぐち建築設計室
山口哲央さん

設計事務所勤務を経て独立し、建築家として活躍。二級建築士。

ー建設業界で働くきっかけ

もともと船乗りでしたが、陸で働いてみたいなど。手に職をつけたいと思っていたところ、ご縁があって、智原測量設計(株)に入社しました。

ー仕事の内容や、やりがい、今目標としていること

現場で種々の機器を使って測量し、地図や断面図を作成するのが主な仕事です。また、3Dスキャナーやドローンなどを使って、3次元でも測量します。3次元測量では、交通量の多い道路であっても、道路内に進入することなく計測することが可能です。自分が測量し、作成した図面や成果が発注者の元に届き、評価してもらえた時に大変やりがいを感じます。特に3次元測量の仕事では、新しい測量なので決まった形がなく、発注者と様々な協議を行いながら3次元のモデルを作りあげていきます。その成果を見た発注者に感動してもらえた時は嬉しいです。知識をさらに身につけ、技術を磨いて、相手の求めるニーズに応えられる測量士になりたいです。

ー後輩へのメッセージ

測量の現場は、体力も使います。仕事は多岐にわたり、最初はしんどいかもかもしれませんが、慣れてくると作業も速くなり、楽になります。測量の世界は日々進化していて、最新の技術を身につけて新しいことにチャレンジできます！

ー会社の上司より一言

測量についてまったく知らない状態で入ってきたので、まだまだ難しさを感じているところもあると思います。ただ、忍耐強く乗り越えて経験を積み、必ず必要とされる技術者になれると思いますので、頑張ってもらいたい。(社長 智原正志氏)



智原測量設計(株)
測量部
宇藤正平さん

平成25年、智原測量設計(株)入社。一般測量、3次元測量など幅広く担当。測量士補。

ー建設業界で働くきっかけ

実家が自営業で建設機械の整備をしているので、子供の頃から重機に触れられる環境で育ち、漠然とですが、将来的には家業を継ぐんだらうなと思ってはいました。ただ仕事としての興味はなく高校は普通科に進学しました。でもバイクに乗るようになって機械の面白さに目覚め、祖父や父の勧めもあって、今では建設機械のレンタル・修理・販売をしている(株)ササイで働いています。

ー仕事の内容や、やりがい、今目標としていること

主に油圧ショベルの修理をしています。サービス工場内での業務だけでなく、レンタルのお客様が仕事をされている様々な現場へ出張修理をすることも多いです。トンネル工事では建設機械が24時間フル稼働することから、頑丈につくられた機械でも思いもよらない故障が日常茶飯事のように起こります。建設機械は大きい分、修理することで止まっていた機械が動くようになったときの達成感がとても大きいです。育ててもらっている先輩方にできるだけ早く近づいて、技術面もコミュニケーション力も磨いて一人前のサービスマンになりたいと思っています。

ー後輩へのメッセージ

体がきつい部分もありますが、達成感も大きいし体力や精神力も鍛えられます。お客様に直接喜んでもらえる仕事なので面白いですよ。一緒に働きませんか？

ー会社の上司より一言

成長の階段を昇ってくれているのが見ていて嬉しいです。早く一人前のサービスマンになれるようサポートしていきますが、本人の“そうになりたい”思いが一番大事なことです。これからも頑張ってください。(奈良サービスセンター長 上田誠氏)



(株)ササイ
カスタマーサポート部
橋田堅也さん

平成27年、(株)ササイ入社。
油圧ショベルの整備担当。
建設機械各種運転資格取得。

県内でも、建設業で活躍する女性が増えています。建築、電気設備の分野で働く女性技術者からのメッセージです。

ー建設業界で働くきっかけ

幼少期から、自分の住む家を自分で建てたいという思いがありましたが、趣味だった音楽で大学へ進学しました。でも、やっぱり建築をしたいと思い、修成建設専門学校建築学科に入学し直しました。不安だらけでしたが、先生方が一から丁寧に教えてくれました。3時間みっちり行った製図の授業が一番印象に残っています。

ー建設系専門学校から実際に業界に入ってみての感想

働いてみて一番困っているのが、聞いたことのある建築部材や道具、材料の名前と実物が一致しないことです。学校ではたくさんのことを学びますが、現場で働いて身につくことの方が多いです。現場において女性だからといって困ったことはありません。男性ばかりの職場ですが、きついと思ったこともありません。みなさん優しく教えてくれます。

ー仕事の内容や、やりがい、今目標としていること

今は、改装工事現場に足を運び、原寸を測って図面を作成し職人さんと打合せをして、図面を修正して完成させるということの繰り返しです。自分が作成した図面を基に職人さんが形にしてくれた時や、完成した家を見て施主様が喜んでくれた時にやりがいを感じます。今後は一級建築士の資格を取得するとともに、たくさんの知識を習得して、施主様に喜んでいただけるように精進していきます。

ー後輩へのメッセージ

一生に一度の大きな買い物のお手伝いをさせていただけることは、本当に素敵なお仕事です。就職して仕事ができるようになるまでは、「ついていけない」、「しんどい」など思うことがあると思いますが、頑張っ乗り越えてほしいです。女性だからこそできる仕事は、たくさんありますよ！

ー会社の上司より一言

若い方の考えを聞いて、従来の良さを残しながら現代の良さを取り入れていきたいので、どんどん新しい提案をしてほしいです。(社長 坂田清史氏)



(株)坂田工務店設計部
長谷川洵さん

平成27年、修成建設専門学校を卒業後、地元工務店を経て、平成28年、坂田工務店入社。施工図作成を担当。二級建築士。

ー建設業界で働くきっかけ

もともと業界志望ではなく、大学では生物の勉強をしていました。進路に迷っていた時、奈良県主催の合同就職説明会で出会った藤原電気工業(株)の藤原会長に「うちに来たら」と言われ、社風が自分に合いそうだなと思い入社しました。

ー女性ということで、現場で困ることなどはありますか

女性だから困るというより、女性なのでむしろ体力面などに気を使ってもらい、みんな優しいです。現場でも、トイレや更衣室で困ることもありません。ただ、現場事務所には長期にわたって少人数で入ることが多いので、合わない人と組むとしんどいだろうと思います。

ー仕事の内容や、やりがい、今目標としていること

現場事務所では、現場を見たり、現場に必要な図面のデータ化や書類作成などの作業をしています。冠水情報板の設置工事では、必要な書類を作成し、地中埋設配管についてガス会社、水道会社と協議しました。自分の携わった冠水情報板が設置された時は嬉しかったです。頑張っ作成した書類が完成した時にはやりがいを感じます。現場で頼られる、書類作成のエキスパートになることを目指しています。

ー後輩へのメッセージ

やってみたらなんとかなるので、やりたいことが決まっていな人、迷っている人は業界に飛び込んでみたらいいと思います！

ー会社の上司より一言

会社も期待している社員です。できる男性と同じレベルになって、女性技術者の先駆者的存在になってほしいです。(営業部長 黒木康博氏)



藤原電気工業(株)
電設部
東田麻衣子さん

平成24年、藤原電気工業(株)入社。現場管理のアシスタント。第二種電気工事士。